

8月25日(月) 帰り支度(お土産の買い物、諸整理)小樽へ 曇/晴

○天気が良くないので恵庭岳登山はあきらめ帰り支度して小樽へ。

- ・朝5時に起床。夜中はかなりの雨が降ったようで路面がびしょ濡れだ。テレビを見ながら日記を書いている。天気予報では「札幌方面は晴れ間が出る」とか、しかし晴天は期待できそうに無いので、今日は恵庭岳へ登るのは中止し明日帰途につくことに決めた。
- ・まだ雨模様なので車内で朝食(パン、マーガリン、コーヒー、トマト)、今回の旅も終わりなのでいままで使ってきた車内の整理を始めた。今回の旅は富良野岳、羅臼岳、黒岳、後志羊蹄山と北海道ではメインの山を全て快晴の下制覇出来たので悔いのない山旅だった。ここに来て天気が不安定、今も所々に雲の切れ間は見えるが全天曇り空。
- ・8時過ぎ道の駅「えにわ」を出てお土産を買い込みに千歳空港へ向かった。空港の駐車場は時間制の有料なので買い物は急いでやらないと。まず帰りの準備として今夜の宿と明日のフェリーの予約をする。今夜の宿は小樽のYH、夕食付きで6000円、明朝小樽発新潟行きのフェリーはS寝台で予約OK。さて千歳空港のお土産売り場で買い物だ。第一に「白い恋人」を大量に買い込み、恵子家族へお揃いのTシャツ、朋子と母へはユウカラ織りの財布など、その他ワインやお菓子を買い込んだ。金が底をついたのでATMで金を下ろしてから空港を出た。今回の旅の中で一番金がかかった一日だ。まあ良いか。
- ・道の駅「サーモンパーク千歳」で昼食。幹線道路に面したでかい駅で、隣の「花ロードえにわ」に比べダサイ駅だが車で一杯だ。上空を自衛隊の飛行機がひっきりなしに飛んでいてうるさい。民間機は飛ばないがコースが異なるのか。

- ・サーモンパークが駅の奥の方にあった。駅の奥は千歳川に沿っての公園になっていて「さけのふるさと館」という淡水水族館が建っている。せっかく来たのだからと大枚800円を払って入ってみた。これは立派、昨年入った標茶の「サーモンパーク」に比べ建物は小さいが内容はよっぽど充実していて一見の価値がある。鮭の成長過程に沿って並んでいる水槽、淡水魚だけのかい水槽、極めつけは千歳川の川底に作った観察路から川の中を直接観察できて、淡水魚が沢山泳いでいるのが間近に見える。



「さけのふるさと館」

もう少しすると鮭が遡上するところが見られるそうだ。是非見てみたい。

- ・今日の宿は最後を飾って「ピラ・マウント小樽」というYHにした。チェックインは5時なのでまだかなり時間がある、どこで過ごそうか。札幌あたりで探してみると羊ヶ丘公園が良さそうだ。大昔行った記憶はあるがどんなところだったかあまり覚えていない。

・札幌・小樽へ向けて車を走らす。この道は行ったり来たり何回走ったか！千歳～札幌～小樽の道は北海道一の幹線道だけに、さすがに交通量が多い。札幌に入ってナビを頼りに羊ヶ丘へたどり着いた。なんとここは快晴、久しぶりで真夏の日差しが暑い。このところずっと着ていたジャンパーを脱いでシャツになった。500円払って入園し広い芝生の中の道を登ると自家



用車や観光バスで一杯の駐車場。羊ヶ丘展望台というだけあって眼下にさっぽろの市街地が一望され、サッポロドームがすぐそばに見える。クラーク像の前では入れ替わり立ち替わりみんな同じポーズをとって写真を撮っている。隣に「恋の町札幌」の歌碑がある。雪祭り記念館では今まで1回から59回まで行ってきた雪祭りの歴史を面白く見た。札幌市街を見下ろしながら芝生の草原で草を食む羊たちをぼんやりと眺めながら時を過ごした。

・さて今夜の宿小樽へ。札幌の街はでかい、若干の渋滞もあったりして街を抜けるのに1時間近くかかった。小樽は今回の旅の始め上陸したところで懐かしい。初日最初に訪れた天狗山へ登るロープウエー下駅のそばに今夜の宿「ビラ・マウント小樽」があった。YHといってもなかなかおしゃれな作りで、ちょっとしたプチホテル、部屋も個室できれい、最後の夜を過ごすのにふさわしい。こぢんまりした風呂に一人で入り、6時半に夕食。マトンのしゃぶしゃぶ、ほっけのフライ、サラダにそーめん他、久しぶりで食うまともな夕食と生ビールが実に旨い。



「ビラ・マウント小樽」

・食堂にはバイクで回っているという親爺が二人、あまり話しも進まず、自室に戻ってテレビを見ながらうたた寝をした。8時過ぎにベッドに入って熟睡に入った。Good Night！
こうして今回の「第2回目 北海道山紀行」最後の日は終わった。

8月26日(火) 帰途・フェリー 曇

○ いよいよ帰途。フェリーに乗って新潟を目指す。

- ・4:20 起床、まだ暗い。久しぶりの本格ベッドで熟睡した。洗面しお茶を飲みながら日記を書いている。私の部屋は2階の27号室だが、2階の部屋にはあと4~5人(家族?)が泊まっているようだ。洗面所で会って挨拶をした。リンゴパイと牛乳で朝食を済ませホテルのオーナーに挨拶して7時にホテルを後にして小樽港へ向かう。早朝の小樽の街は静かだ、10分足らずでフェリーターミナルに到着した。

中を覗くともう乗船の受付が始まっている。さっそく乗船手続きをとった、23500円也。これでは後は帰宅するのみとなった。

- ・9時半の乗船開始までフェリーターミナルの土産物店を見たり、車でワンセグを見たりして時間をつぶした。乗船は私が一番、先頭を切って乗船した。数日前からメモして待ち時間に十分用意しておいた持ち込み荷物を担いで船室へ、今回は数千円も高い



小樽フェリー埠頭・先頭に並ぶ

ワンランク上のS寝台 J84室、一応個室だけ、自分の空間と場所が確保出来る。ただパソコンを使いたいので、個室ならあると思っていたコンセントが無い。パソコンは使えない?

- ・まず一番風呂に入った。(フェリーに乗るのは4回目なので乗船から出港の間に一番風呂に入るといふ技を習得した) もう数人入っているが風呂は広いのでゆっくりとくつろいで入浴。さっぱりして風呂から出、ビールで乾杯、まだ出航の時間(10:30)になっていない。ビール、ワインを飲みながら今回の旅の反省文を書いていたが出港時にはすっかり出来上がってしまいベッドに潜り込み熟睡、目が覚めたら2時前だった。
- ・前にも書いたが、S寝台にあると思っていたコンセントが無かったのは大誤算だ。ロビーの壁の机の下にコンセントがある席を見つけて確保、パソコンを持ち出しその机を占拠した。今回の旅の金銭収支を計算し、写真画像や行動記録などを整理しながら5時過ぎまでパソコンに向かっていた。客が少ないので誰にも文句を言われることなくゆっくりとパソコンを使うことができてよかった。
- ・7時前、海側の席で暗くなりだした海を見ながら、烏賊の干物とビールで乾杯。インスタント焼きそばを作ってビールで夜食(ビールの飲みっぱなし)。海が少し荒れてきたようで前後左右に揺れている。さて寝るか、今8時。明日の新潟港入港予定は6時、ゆっくり寝よう。 Good Night !!

8月27日(水) 新潟から伊勢原へ 晴

○ 最終章 : 新潟港に上陸し高速を走って一路伊勢原を目指した。無事帰宅。

・朝2時過ぎに目が覚め、最前のロビーに行ってみたが「航海の支障になる」ということで窓はすべて厚いカーテンで締め切られていて海を見ることが出来ない。部屋に戻ってまた横になり4時過ぎに起床。外に出てみると下弦の月が輝いていて天気は良いらしい。昨夜はかなり揺れたが今は全く静かに航行していて快適な船旅だ。

・予定通り新潟港に6時に接岸。乗船が一番だったので下船も一番、久しぶりに本土の地に下りた。まだ真夏、北海道と違って朝早くてもかなり暑い。もう朝の活動が始まっている新潟の街を抜けて新潟亀田ICから高速に乗った。



◎今年の北海道山紀行も無事終了した。昨年とは趣を異にした面白い紀行だった。

山の天気には恵まれたし、羅臼岳、後志羊蹄山という標高差のある長時間歩行の登山もチャレンジ出来た。行動開始早々、旭川の病院に行くことになったり、たまたま道の駅で隣に泊まったおじさんに鮭をもらったために、行動計画が振り回されたりして、何が起こるかわからない気まま一人旅の醍醐味を味わった。止められないね！